

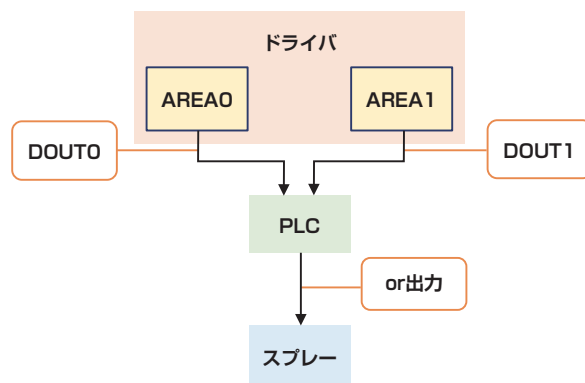
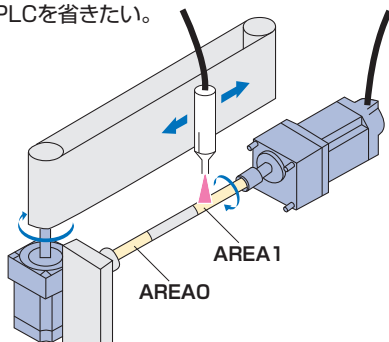
エリア信号をカスタマイズしたい

課題

2つのエリアで、1つの信号を出力したい

従来の問題点

バーの塗装を行う際、両端の任意の所を塗装するため
エリア信号を2つ使いPLCに出力していた。
コストダウンのためにPLCを省きたい。



解決策

AZシリーズのコンポジット機能を使う

解決 KEYWORD

コンポジット出力機能

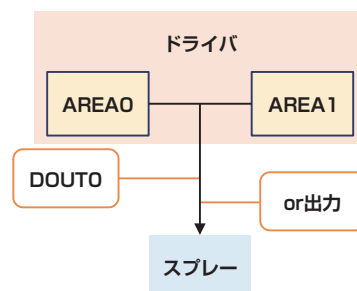
詳しくは
WEBサイトの取扱説明書を参照

2つの出力信号の論理結合結果を、1つの信号で出力できます。
この事例では、AREA0とAREA1の信号を結合しています。

AREA0 ~ AREA7出力

モーターが設定したエリア内にあるとき、AREA出力がONになります。
モーターの停止中でも、モーターがエリア内にあるときはONになります。

PLCが省けた上に、ドライバの出力も
2点から1点に減らすことができます。



サポートソフトMEXE02の設定例

□ AZ パルス列入力/位置決め機能内蔵/RS-485通信付きパルス列入力 / EAS (0.01mm/step)

- データ
 - 運転データ ... 1
 - 運転I/Oイベント
 - 運転データ拡張用設定
- パラメータ
 - 基本設定
 - モーター・機構(座標/JOG/原点復帰)設定
 - ETO・Alarm・Info設定
 - I/O動作・機能 ... 2
 - Direct-IN 機能選択(DIN)
 - Direct-OUT機能選択(DOUT) ... 3
 - Remote-I/O機能選択(R-I/O)
 - EXT-IN・VIR-IN・USR-OUT機能選択(拡張)
 - 通信・I/F機能

1 運転データ

	名前	方式	位置 [mm]
No.0		絶対位置決め	100.00

2 I/O動作・機能

48	AREA0 + 位置/オフセット [mm]	20.00
49	AREA0 - 位置/判定距離 [mm]	10.00
50	AREA0 範囲指定方法	絶対値で範囲指定
51	AREA0 位置判定基準	検出位置基準
52		
53	AREA1 + 位置/オフセット [mm]	90.00
54	AREA1 - 位置/判定距離 [mm]	80.00
55	AREA1 範囲指定方法	絶対値で範囲指定
56	AREA1 位置判定基準	検出位置基準

3 Direct-OUT 機能選択 (DOUT)

	(通常)出力機能	接点設定(信号反転)	OFF出力遅延時間 [ms]	コンボジット論理結合	コンボジット出力機能
DOUT0	AREA0	反転しない	0	OR	AREA1